



五加の学び舎

千曲市立五加小学校
学校だより NO. 14
R 6. 12. 10 (火)

人権教育参観日・講演会、学校運営委員会ありがとうございました

～参観日保護者アンケートから（抜粋）～

- 自由で楽しそうに授業に取り組める環境になっていると感じました。自分の子供だった頃と比べると「やらされてる感」がなくなったなと感じました。
- 授業に参加できている喜びを、全身から感じます。今までできなかったことができる、やりたかったことが実現する（手を挙げて当ててもらって発言するなど）は、子供自身の自己肯定感につながると思いました。
- みんなで協力しあい、それぞれがその時その時に必要なこと（テープを貼る、下を支えるなど）を誰が言うでもなく自ら進んで行動し、ひとつの事を達成させる姿が印象的でした。
- 相手のことを知りたいと思う姿が見られました。先生の明るさのおかげで、子供たちものびのびと明るく過ごしている様子が見られてよかったです。
- 参観日のグループ活動も講演会も懇談会もとても有意義な時間でした。ありがとうございました。
- 講演会がとてもよかったです。また、懇談会も新しい取り組みがなされ、お家の方と子育ての悩みや喜びを共有できました。お家の方向同士で話す機会をこれからも多く入れていただきたいと思います。
- 自分で決める、それを大人が尊重することの大切さを感じています。自分が大切にされていると思うと、相手も大切にするエネルギーややり方が分かるのかなと思います。



～学校運営委員の皆様のご感想から（抜粋）～

- 授業や講演会での五加小の子どもたちの積極性、明るさ、優しさがとてもすばらしい。
- どのクラスでも、活発で和やかな授業風景がとても印象的でした。
- 協働的にみんなで話し合っ、お互いに助け合っ活動している姿がうらやましく感じました。
- 資料にあるように、大人は、子どもが成果を表現することのみを「表現力」と捉えてしまいがちだが、一番大切なのは、「分からない」「できない」「教えて」と言える表現力であるということに改めて感じました。そのようなことを五加小学校で指導していただき大変ありがたい。
- 「自分も幸せ みんなも幸せ」な五加小学校とは、これこそ人権教育そのものだと思います。校内に掲示されている「なかよしの木」も見事でした。
- R7年度の学校経営ビジョン（案）はとても分かりやすかった。この経営ビジョンに示されているように、学校が世の中の半歩先を歩んでいただきたいと思う。そのためにも、ぜひこれを多くの方々と共有してほしい。
- 学習問題設定のあり方については、はじめて学んだ気がします。これからの授業参観の折など、そんな視点をもって参観したいと思いました。

先月22日（金）の人権教育参観日・講演会・学級懇談会では、多くの保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。また、たくさんのご感想等もお寄せいただき、重ねて御礼申し上げます。当日は学校運営委員の皆様方にも授業参観からご出席いただき、本校の子どもたちの様子を参観していただいた上で学校経営に関するご意見をいただくことができました。

また、委員会の中では来年度の学校経営ビジョン案（※本紙裏面参照）についてご説明もさせていただきました。保護者の皆様にもご一読いただき、ご意見などお寄せいただけると幸いです。

【小学校6年間で目指す子ども像】 自己肯定感から自己有用感の育成へ

「自分も幸せ（好き）、みんなも幸せ」
と言える子ども

【教育理念】

「広げ、深め、高め合う」学び舎

※「合う」・・・子ども、保護者・地域、教職員が相互に結び合う関係（協働）

- 「主体的・自立的」な学びを根幹とする学び舎（学びをつくる）
- 「多様性・個性」を包みこむ学び舎（関係をつくる）

経営概要

【小学校6年間のねらい】

「広げ、深め、高め合う」学校づくりと、対話を基盤として多様性・個性を認め合い、子どもが主体的・自立的に「問い」をもって学ぶ授業実践を通して、生涯にわたって協働しながら新たな価値を創り続ける力・よりよい自己と社会の実現を目指す態度を養い、「自分も幸せ（好き）、みんなも幸せ」と言える子どもを育成する。

【学校教育目標】

「問い」をもって学ぶ五加の子

～ 目指す教師像：「問い」から始まる学びを創造する教師 ～

【重点1】学びづくり

子どもが問題意識（「問い」や「願い」）をもち、クエスチョン（W）型や結論の根拠や理由を問う等の学習問題を設定し、見方や考え方の「ちがひ・ズレ」及び共通点を共有することを通して、対話（友・対象・自己）の質を高める。

【重点2】関係づくり

地域の方との協働、異学年・他者との交流活動、主体的・自立的に学び合う授業を通して、聴き合う関係・「助けて」「教えて」と言える関係を構築し、多様性・個性を認め合う。

【重点1・2】を支える教育支援・システム

① 小学校6年間学習支援・システム

学級担任の持ち上げを原則とせず、学習指導では積極的に教科担任制（専科・授業交換）を取り入れることで、子ども一人ひとりの特性に対応する多様な指導を行う。また、「結果より過程」を重視し、自己の高まりを実感できる評価・支援を行う。

② 地域協働システム ～地域と共に歩む～

学校運営委員会・地域ボランティア・外部講師等との積極的な協働により「地域に開かれた教育課程」を編成し、地域と共に生きる五加の子どもを育成する。

③ 教職員研修

教職員が、お互いの授業を参観し子どもが「対話（友・対象・自己）」する姿を語り合ったり、授業づくりに係る定期的な研修や振り返りを行ったりすることを通して、「主体的・自立的な学び」の具現に向けた授業力の向上を図る。